

## 第6学年 算数科学習指導略案

- 1 単元名 速さ
- 2 本時の目標 速さの単位を自動的に換算するプログラムの作り方を考え、プログラムの活用を通して、コンピュータのよさに気付くことができる。
- 3 本時の展開(6/7)

過程	指導内容	指導形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具等
見通す	1 課題把握	一斉	○時速□km を秒速□m になおすプログラムをつくるという課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムが実行されている場面(ステージ)だけを見せ、速さの単位を自動的に換算するプログラムをつくりたいという意欲を高めさせる。</li> </ul>	プロジェクター スクリーン
	2 めあて	一斉	○めあてを確認する。		
つなげる	速さを自動的になおすプログラムの作り方を考えよう。				
	3 見通し	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プログラムに用いられているブロックを予想する。</li> <li>○表から、km をm になおす時は 1000 倍、時速から秒速になおすときは 3600 でわることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムが実行されている場面を再度見せ、プログラムの中にどのような計算式が組み込まれているかを考えさせるようにする。</li> </ul>	ブロックの拡大図 乗り物の速さの表 (p123)
4 自力思考	一斉	○時速□km を秒速□m になおすプログラムをつくる。			
ひろげる	5 集団解決	ペア ↓ 一斉	○つくったプログラムについて交流し、必要に応じて、自分のプログラムに修正を加える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演算ブロックの内容については、全体で交流し、ブロックの中に時速と秒速、km とm の関係が表されていることを捉えさせるようにする。</li> </ul>	プリント
	6 プログラムの活用	個別	○プログラムを使って練習問題を解く。		
	7 まとめ	一斉	○授業の中で大切だと思ったことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速さの関係を正確に表すといった数学的な視点と自動化するよさといった情報的な視点で学習内容をまとめる。</li> </ul>	振り返りシート
	8 練習問題	個別	○分速□m を秒速□m になおすプログラムをつくる。		
	9 振り返り	個別	○振り返りシートにまとめる。		

- 4 本時の評価(評価観点) < 評価方法 >  
速さの単位における相互関係を理解し、自動的に換算するプログラムの作り方を考えている。  
(数学的な考え方) < 発言・振り返り >